

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	事事故例
2. 体験した事例の名称	救助訓練（ロープブリッヂ救出）中における事故
3. 体験した事例の中心的要素	上記訓練中に渡過者 2 名が訓練塔間を渡過した際、先行渡過者が手を滑らせ渡過不能になったのを気付かず、後方から渡過し激突した事例である。
4. 体験した事例の原因・理由	「まさか手を滑らせるとはないだろう」という決め付けと、前方をよく確認していなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 18 年 5 月 20 日 午後 3 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：消防本部敷地内屋外訓練場
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [救助（大会に向けた訓練）、]
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	渡過訓練、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者 A）

○当事者 A	年齢[31]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長]、同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
○当事者 B	年齢[27]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5]年、階級[消防副士長]、同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○当事者 C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	B	救助訓練ロープ渡過中、ロープ中央付近で手を滑らせ 渡過不能となり停止した	
経過 2	A	先行渡過者 B の臀部に頭部から衝突した	
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。避難・退避がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

訓練者全員で声を出し合い、危険因子の早期排除

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

訓練塔周辺の障害物（木の枝等）を撤去し、死角をなくした。

○指揮・情報伝達の対策について

拡声器等を使用し、明確ではっきりとした支持をするようにした。